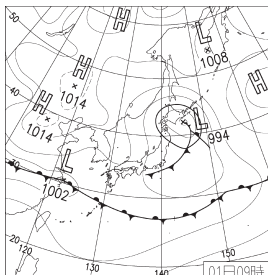


# 日々の天気図

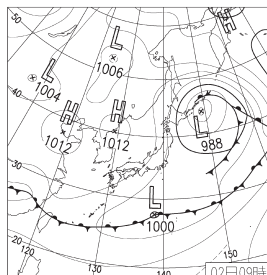
— No. 173

## 2016年6月

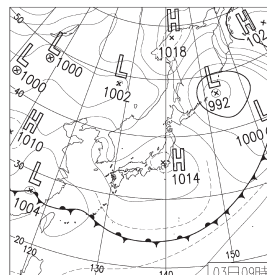
- 16日、利根川水系取水制限、異例の6月開始、北海道で震度6弱。
- 19~30日、西日本中心に大雨、宮崎県えびので期間降水量1210.5mm、20~23日は記録的短時間大雨情報、河川の氾濫危険水位超え等相次ぐ。
- 20日、岩手県で竜巻、強きの評定に日本版改良藤田スケール初適用。  
(気象庁予報部予報課)



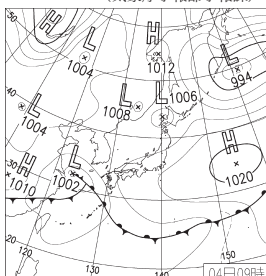
**1日(水)九州南部と北日本で雨**  
前線の影響で九州南部・奄美は雨、鹿児島県沖永良部で74.5mm/1h。寒気を伴う低気圧の影響で北陸~北日本は雨や曇り、九州南部や北陸~北日本では最高気温が4月並の所も。



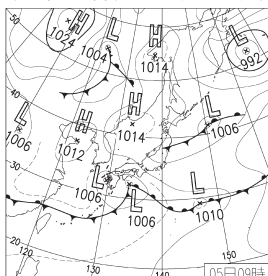
**2日(木)上空に強い寒気入る**  
沖繩・奄美は梅雨前線による曇りや雨、低気圧は千島近海へ、寒気入り北陸~北日本は曇りや雨、西日本~東海・関東は晴れ。北日本の最高気温は4月並、平年差-10℃以下の所も。



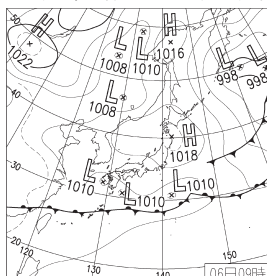
**3日(金)長野県菅平で-1.9℃**  
高気圧に覆われ西~東日本では晴れ、上空の寒気や放射冷却の影響で最低気温が6月の低い方の1位更新多数、岐阜・長野県でも氷点下の朝、東京で12年ぶりの6月の乾燥注意報。



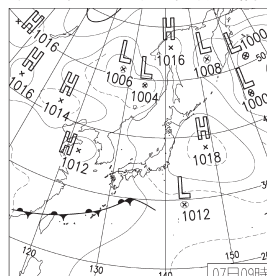
**4日(土)九州から雨域拡大**  
東シナ海の低気圧に伴う雨域が九州から拡大しながら東進、九州南部、九州北部、四国、中国、近畿、東海の梅雨入りを発表。北日本は寒気を伴う低気圧の通過で雨。



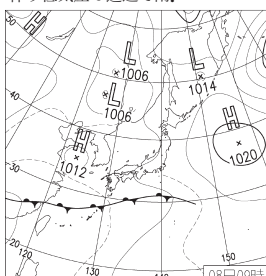
**5日(日)関東甲信梅雨入り発表**  
前線や低気圧の影響で西日本~東海・関東まで雨、北海道を通過した低気圧の影響で北日本は朝まで一部で雨、日中は北陸~北日本にかけて概ね晴れ。



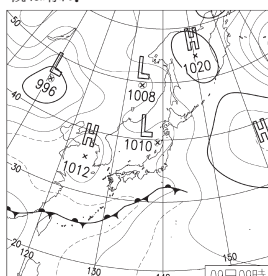
**6日(月)南西諸島で強い雨**  
高気圧が北日本から三陸沖へ移動、北日本は晴れ、その他も晴れ間が広がったが、関東は曇り、低気圧や梅雨前線の影響で沖繩~九州は次第に雨、沖繩は雷を伴い強く降った所も。



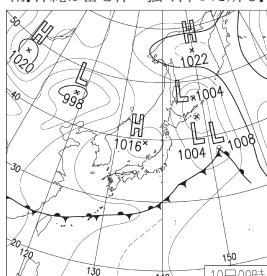
**7日(火)四国で非常に激しい雨**  
梅雨前線の影響で沖繩・奄美や西日本で雨、沖繩~九州は次第に天気回復したが、高知県佐喜浜で日降水量268mmなど各地で大雨、東日本も曇りや雨、北日本は概ね晴れ。



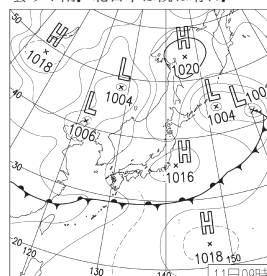
**8日(水)那覇でクマゼミ初鳴**  
梅雨前線は沖繩~日本の南に停滞、本州付近は湿った空気が流れ込む、全国的に曇りや雨の所が多宮崎県日向43mm/1hなど西日本で激しい雨、北陸は晴れて真夏日も。



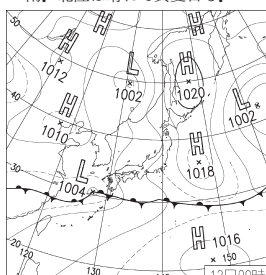
**9日(木)全国的に雨**  
気圧の谷の通過により全国的に雨、西日本を中心に激しい雨となり、広島県佐伯湯来の33mm/1hは6月の1位の記録更新、広島市など4都市でアジサイ開花。



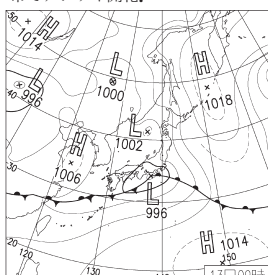
**10日(金)東北南部でも真夏日**  
梅雨前線が停滞する沖繩・奄美は雨、低気圧に近い北海道は初め雨、その他は高気圧に覆われ概ね晴れ、東北南部以南の158地点で真夏日、西日本で大気不安定となり、激しい雨も。



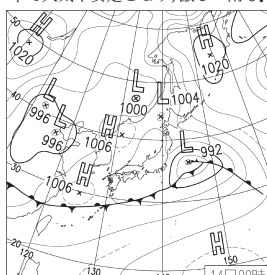
**11日(土)連日の真夏日**  
梅雨前線や気圧の谷により沖繩~九州南部で雨、鹿児島県笠利64mm/1h、西日本~北陸の一部で雨や雷、東~北日本中心に高気圧に覆われ晴れ、東北~九州の179地点で真夏日に。



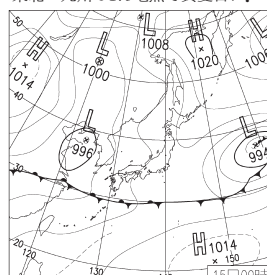
**12日(日)沖繩~西日本中心に大雨**  
南岸の前線上に低気圧が発生し東進、沖繩・奄美は激しい雨、九州南部から次第に雨域広がり夜には東日本まで、高知県佐喜浜で日降水量190mm、茨城県で震度4、熊本県で震度5弱。



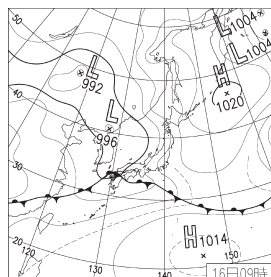
**13日(月)北陸・東北梅雨入り発表**  
前線を伴った低気圧が南岸を東北表進、全国的に曇りや雨だが西日本は午後、次第に晴れ、オホーツク海高気圧の影響で最高気温が東~北日本で4月並、北海道は10℃以下の所も。



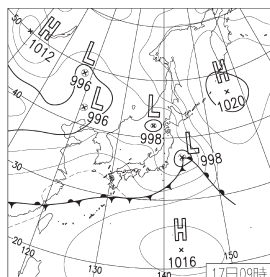
**14日(火)沖繩で非常に激しい雨**  
南西諸島では前線の影響で雨、沖繩県糸数で54.5mm/1h、西~東日本では曇りや晴れ、一部で雨も、北日本では気圧の谷の通過で曇りや雨、埼玉県熊谷市でシオカラトンボ初見。



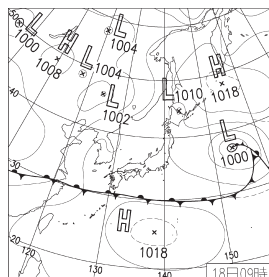
**15日(水)奄美で激しい雨**  
前線の影響で南西諸島は雨、鹿児島県諏訪之瀬島で44.5mm/1h、西日本や東~北日本の日本海側は概ね晴れて真夏日、東~北日本の太平洋側は曇りや最高気温は4月並の所も。



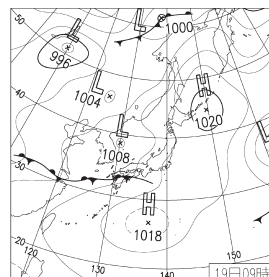
**16日(木)北海道函館市で震度6弱**  
梅雨前線が北上し南岸を低気圧東進。高気圧に緩やかに覆われた沖縄では、晴れて梅雨明け発表。その他は全国的に曇りや雨。鹿児島県志布志で46.5 mm/1h など九州南部で激しい雨。



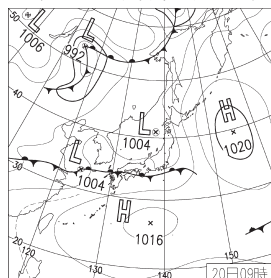
**17日(金)北海道で大雨**  
低気圧接近に伴って南から湿った空気が入ったため、北海道太平洋側で日降水量100 mmを超え、釧路155 mm など6月の1位更新。梅雨明けした沖縄と関東・東海などで真夏日。



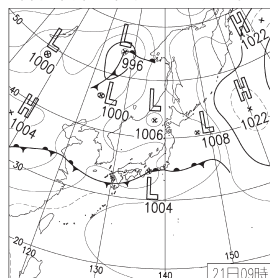
**18日(土)奄美梅雨明け発表**  
太平洋高気圧が強まる。梅雨前線の活動が弱まり北日本を除き概ね晴れ。埼玉県鳩山35.2℃、群馬県館林35.1℃は今年全国初の猛暑日。真夏日も約3割の269地点で、今年最多。



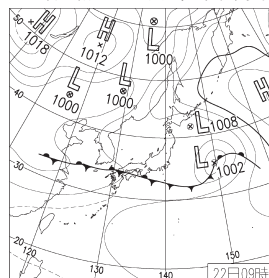
**19日(日)九州南部中心に大雨**  
梅雨前線の活動が活発で、西～東日本、北日本に雨域拡大。熊本県牛深の83.5 mm/1hをはじめ、鹿児島県輝北で77 mm/1h、日降水量252 mm など6月の1位の記録を更新する大雨。



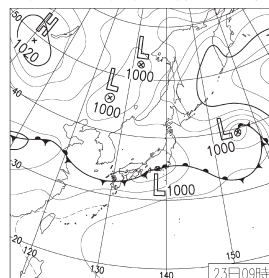
**20日(月)熊本・長崎で猛烈な雨**  
前線活発で最大1時間降水量が熊本94 mmなど史上1位。熊本県甲佐23.5 mm/1hは翌日の更新で同2位。東～北日本で雷や突風を観測。前橋の最大瞬間風速29.1 m/sは6月1位。



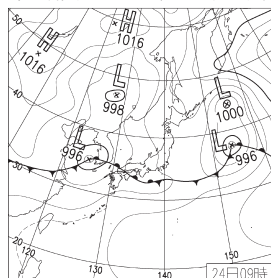
**21日(火)九州で記録的な大雨**  
引き続き前線活発で前線上を低気圧東進。熊本県甲佐で150 mm/1hと史上1位、日本歴代4位を記録するなど九州で猛烈な雨。高知県室戸岬最大瞬間風速34.1 m/s、北海道で震度4。



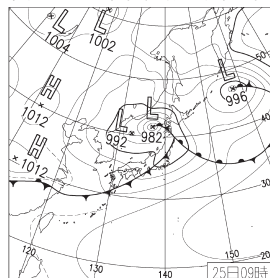
**22日(水)西日本で大雨続く**  
梅雨前線が西日本～東海に停滞し、九州を中心に大雨。日降水量が福岡県大牟田で史上1位の300 mm、長崎県佐世保で6月1位の266.5 mm。沖縄・奄美や北日本日本海側は晴れ。



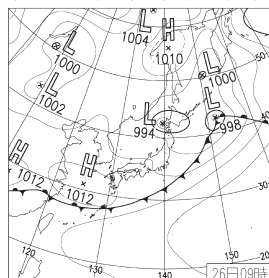
**23日(木)西日本の天気回復**  
梅雨前線上の低気圧が西日本から日本海へ。山口県玖珂51.5 mm/1h、静岡県網代50 mm/1hの非常に激しい雨。午後は前線南下し西日本～関東で5日ぶりに広範囲で晴れ。



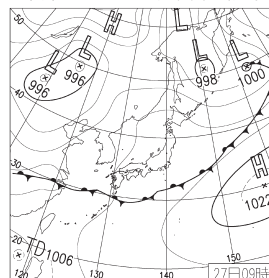
**24日(金)前線、再び活発化**  
西日本で梅雨前線活発、前線上の低気圧が日本海へ。中国～近畿中心に激しい雨で、岡山県佐屋36 mm/1h など6月の記録更新。横浜市内でニイゼミ平年より20日早く初鳴。



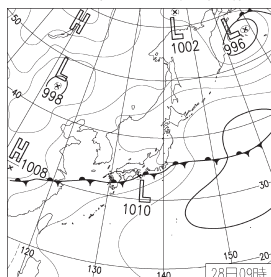
**25日(土)低気圧が日本海で発達**  
暖かく湿った空気の流入で西～北日本では局地的な雨や雷。三重県上野50.5 mm/1h、京都府京北49.5 mm/1h、北海道カルルス日降水量185 mm など6月の1位更新。長野県で震度4。



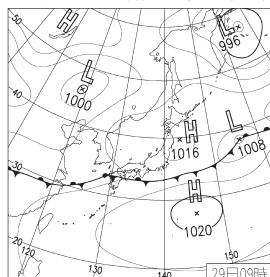
**26日(日)梅雨前線が南下**  
南西諸島は前線停滞し雨、北海道を低気圧が東進し北陸以北も雨。その他は概ね晴れ。沖縄県粟国55 mm/1h、福井県三国42 mm/1hは6月の1位。青森県八戸で最大瞬間風速26.4 m/s。



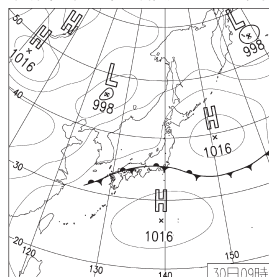
**27日(月)九州南部再び激しい雨**  
西日本に梅雨前線・低気圧が接近し西から次第に雨。夜には東海や北陸まで雨。関東～東北は晴れのち曇り。北海道は晴れ。沖縄は晴れて曇り。九州では最高気温が4月並の所も。



**28日(火)梅雨前線活発**  
日本の南岸に前線が停滞し、前線上の低気圧が東北東進。鹿児島県溝辺では75.5 mm/1hの非常に激しい雨。宮崎県えびのと熊本県阿蘇山では今月の降水量が1000 mm 超え。



**29日(水)九州で非常に激しい雨**  
北日本は概ね晴れ。東日本は曇りで午後から雨。西日本は梅雨前線の影響で大雨。鹿児島県輝北61.5 mm/1h、熊本県山都61 mm/1h など両県で非常に激しい雨。熊本県で震度4。

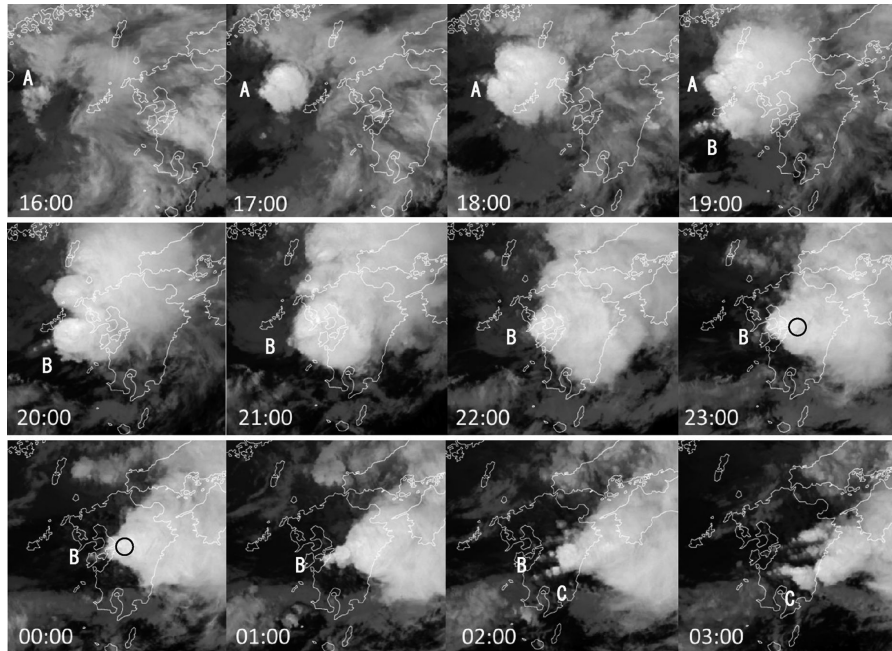


**30日(木)前線、本州付近に停滞**  
西日本の太平洋側は雨が続き、気圧の谷の影響を受けた北陸～東北も雨。鹿児島県内は鹿屋で6月の1位となる66 mm/1hなど各地で非常に激しい雨。北海道は晴れて真夏日の所も。



## 今月のひまわり画像—2016年6月

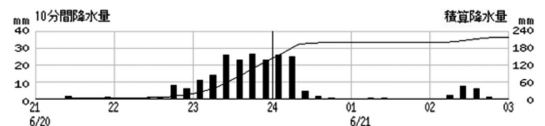
### 1時間降水量150 mm をもたらした積乱雲



第1図 2016年6月20日16時～21日03時（日本時間）の九州付近における1時間毎の赤外画像。  
（図中の記号○の中心は甲佐のアメダス観測所の位置。記号A, B, Cについては本文参照）

2016年6月20日、前線が黄海から九州北部に停滞し、九州では大雨に見舞われた。特に熊本県内では、アメダスの4地点で1時間に100 mmを超える降水量が観測された。このうち甲佐（第1図中の○内）では、21日00時20分までの1時間に150.0 mmの降水量を観測し、日本における1時間降水量で歴代4位となった。

第1図は、九州付近の20日16時～21日03時（日本時間）の1時間毎の赤外画像である。20日16時頃に五島列島の西の前線上で発生した積乱雲（以下A）は東進しながら急速に発達し、Cbクラスター（積乱雲が集合した巨大な塊）が形成された。19時にはAの南側に新たなCbクラスター（以下B）が発生した。10分毎の赤外画像（図略）によると、Bでは進行方向の反対側に新たな積乱雲が次々と発生し、23時頃にはBの形が明瞭な人參状となって、21日01時頃にかけて熊本付近でこの形状が持続した。この時の甲佐における10分間降水量と積算降水量を第2図に示す。雨は23時頃から強まり、23時20分～00時20分に10分間降水量25 mm前後が連続して観測され、1時間降水量150 mm



第2図 20日21時～21日03時の甲佐における10分間降水量と積算降水量。

の記録的な値になったことがわかる。

Bは21日02時以降、衰弱しながら東進したが、この南にはさらに新たなCbクラスター（以下C）が発生した。鹿児島島の20日21時における高層観測では、925 hPaで相当温位348 Kの飽和に近い暖湿気が観測され、不安定な場となっていた。気象庁メソ数値予報モデル（MSM）では、この暖湿気が東シナ海から九州を指向して流入し、暖湿気流入の先端付近でA, B, Cが発生していた。特に下層での収束が顕著な甲佐付近では、積乱雲の発生が継続したため記録的な大雨になった。

（気象庁予報部予報課航空予報室 大野滋規）